

充電式剪定ばさみ（電動ばさみ）

DSH1120L2

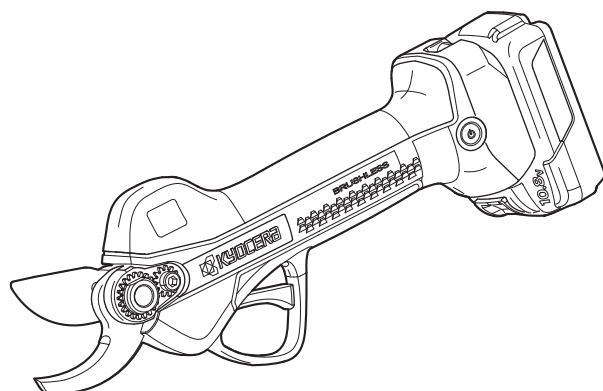
DSH1120(本体のみ仕様)

取扱説明書

保証書付

もくじ

ページ



※本体のみ仕様には、充電器・電池パックは
付属しておりません。



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよく
お読みいただき、使用上の注意事項、
本製品の能力、使用方法など十分ご理解
のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明
書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意	1
危険表示・警告表示・注意表示について...	1
絵表示について	1
充電式剪定ばさみ（電動ばさみ）ご使用に際して ...	9
ラベルについて	12
主要機能・名称・用途	13
各部の名称	13
用途	13
仕様	14
仕様	14
付属品・別販売品	15
付属品	15
別販売品	15
準備	16
充電について	16
ご使用前の準備	19
電池パックの取付け、取外し	20
使い方	21
スイッチ（トリガー）の扱い方	21
ブレード開口角度の設定	22
ビープ音一覧	22
エラーコード一覧	23
剪定作業	24
ホルスターの着用	26
保守と点検	27
ブレード交換	27
ブレードの研磨	31
ブレードの手入れ	33
各部取付けネジの点検	34
作業後の保管	34
修理について	34
故障かなと思ったら	35
保証書	裏表紙

安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△ 危険」と「△ 警告」と「△ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■ 危険表示・警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 警告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△ 危険」・「△ 警告」・「△ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■ 絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		感電注意	回転部注意	

⚠ 危険

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・ 改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。



禁止

電池パックは火への投入、加熱をしないでください。



禁止

電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。



禁止

電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。

- ・ 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- ・ 電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



禁止

電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

- ・ 発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを水のような導電体に浸さないでください。また、電池パックの内部に水のような導電体を浸入させないでください。

- ・ 発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。

- ・ 高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。

- ・ 指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが破損したり、発熱、破裂、発火の原因になります。

安全上のご注意

 警 告	
作業場の環境について	 水ぬれ禁止 作業場の周囲状況も考慮してください。 - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。  必ず守る - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、けがのおそれがあります。  禁止 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
作業者に関する安全事項	 必ず守る 不意な始動は避けてください。 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。 - 電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
	 感電注意 感電に注意してください。 ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
	 必ず守る 保護めがねを使用してください。 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。 
	 必ず守る 防音保護具を着用してください。 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。 
	 必ず守る 加工するものをしっかりと固定してください。 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

 警 告	
工具の使用と手入れ	 必ず守る 次の場合は充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。 ・ 使用しない、または修理する場合。 ・ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。 ・ その他危険が予想される場合。
	 禁止 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。 ・ この取扱説明書および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
電池パック・充電器に関する安全事項	 禁止 正しく充電してください。 ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
	 必ず守る ・ 周囲の温度が 0℃以下、または周囲の温度が 40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。 ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
	 電源プラグを抜く ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
	 必ず守る 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。 ・ 失明のおそれがあります。
	 禁止 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
	 禁止 電池パックを電子レンジに入れないでください。 ・ 急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警 告	
電池パック・充電器に関する安全事項	 ご使用済の電池パックは、一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。 ・ 棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
	 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気が付いたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。 ・ そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
	 電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。 ・ 漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注 意	
作業場の環境について	 作業場は、いつもきれいに保ってください。 ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
	 子供を近づけないでください。 ・ 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。 ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
電気に関する安全事項	 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。 ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。 ・ コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。 ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
	 屋外使用に合った延長コードを使用してください。 ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 注 意

作業者に関する安全事項



必ず守る

無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。



必ず守る

油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。



禁止

- ・疲れている場合は、使用しないでください。



必ず守る

十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。

- ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。



禁止



必ず守る

**アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使
用しないでください。**

- ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。



禁止



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

安全上のご注意

 注 意	
作業 者 に 関 す る 安 全 事 項	 禁止 きちんとした服装で作業してください。 ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。 ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。 ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
	 必ず守る 作業に合った充電工具を使用してください。 ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。 ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
	 禁止 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。 ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
	 必ず守る 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。 ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
工 具 の 使 用 と 手 入 れ	 必ず守る 損傷した部品がないか点検してください。 ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。 ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
	 よく読む 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	 禁止 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。 ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
	 必ず守る 使用しない場合は、きちんと保管してください。 ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
	 禁止 充電工具や電池パックを、温度が45℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や車内など）に保管しないでください。

！ 注 意

工具の使用と手入れ



必ず守る

充電工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。



よく読む



点検・確認

電池パック・充電器に関する安全事項



必ず守る

電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

- ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。



必ず守る

電池パックは出荷前に若干量の充電をしてありますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。



必ず守る

電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。

- ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。



禁止

電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。

- ・保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火の原因になります。

修理とメンテナンス



分解禁止

充電工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・修理担当者以外の人には充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。



必ず守る



禁止

安全上のご注意

■ 充電式剪定ばさみ（電動ばさみ）ご使用に際して

先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式剪定ばさみ（電動ばさみ）をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警 告	
安全作業のため	 禁止 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業には、絶対に使用しないでください。 ・ 発煙、発火、また思わぬ事故の原因になります。
	 必ず守る 作業する箇所に電線などが無いことを作業前に確認してください。 ・ 電線などがあると、ブレード（刃）が触れ、感電のおそれがあり、事故の原因になります。
	 必ず守る 使用する前に、近くに人がいないことを必ず確認してください。また、使用中は人を近づけないでください。 ・ けがの原因になります。
	 必ず守る 使用中は、本体の先端部分やブレード（刃）に、手や顔を近づけないでください。 ・ けがの原因になります。
	 必ず守る 使用中は、枝を保持する手に注意して作業してください。 ・ 誤って挟むと、切断などけがの原因になります。
	 必ず守る 使用中は本体を確実に保持してください。 ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
	 必ず守る 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。 ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
	 点検・確認 誤って落したり、ぶつけたときは、本体やブレード（刃）に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。 ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

警告

安全作業のため



禁止

電池は発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。

- ・ 本体の端子に金属類を接触させないでください。



水ぬれ禁止

- ・ 本体を釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。

- ・ 本体を雨や水にぬらさないでください。



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ・ 爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。

- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。

- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。



禁止

充電用端子部には、金属片、水などの異物を近づけないでください。



禁止

充電器は充電以外の用途に使用しないでください。



禁止

スイッチ（トリガー）に指を掛けて運ばないでください。

- ・ 不意な始動による、けがの原因になります。



必ず守る

枝や異物がブレード（刃）にかみ込んだときは、スイッチを切り、枝や異物からブレードを離してください。

- ・ 無理に切ろうとすると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火や思わぬ事故の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警 告	
安全作業のため	 必ず守る 本体やブレード（刃）にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。 ・ けがの原因になります。
	 感電注意 雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のぬれた枝の剪定はしないでください。 ・ 感電のおそれがあり、事故の原因になります。
	 分解禁止 絶対に分解したり修理・改造しないでください。 ・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。
	 必ず守る 高所作業のときには、下に人がいないことをよく確認してください。 ・ 本製品などを落としたとき、事故の原因になります。
	 必ず守る 高所（高さが 2 m を超える箇所）で作業を行なうときは、高所作業用の機器を使用して安定した足場を確保し、安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかりと固定してください。はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。 ・ けがや事故の原因になります。  禁止
⚠ 注 意	
安全作業のため	 必ず守る ブレード（刃）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。 ・ 確実にしないと、外れたり、けがの原因になります。
	 必ず守る ブレード（刃）の交換は、手袋・ウエスなどで手を保護してから行なってください。 ・ 不用意に扱くと、けがの原因になります。
	 禁止 連続して使用したときは、本体が熱を持ち熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。 ・ やけどの原因になります。
	 必ず守る 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。 ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

！ 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。
必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

※ この取扱説明書は、大切に保管してください。

リチウムイオン電池の回収にご協力ください。



Li-ion

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっていますので、不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店または当社営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

！ 注 意



必ず守る

- ・ 不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

■ ラベルについて

● マーク説明



取扱説明書または本製品に表示の危険・警告・注意などに従って安全に使用すること



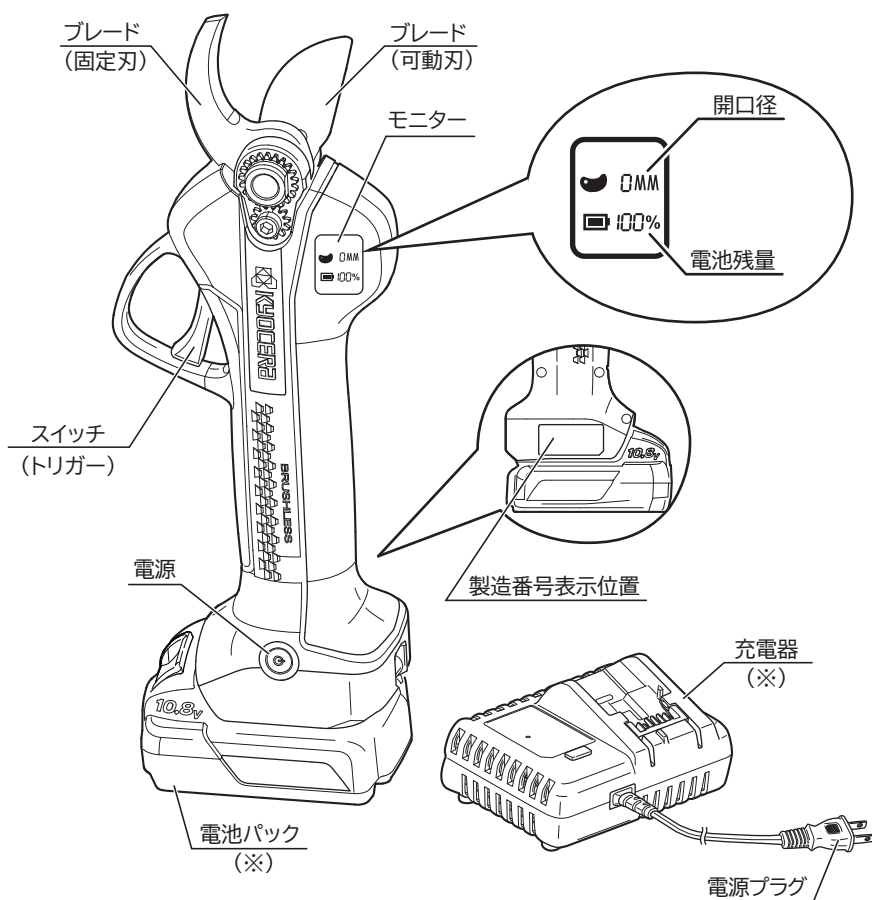
使用前に取扱説明書をよく読むこと

● 取扱い

- ・ 注意ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ・ 注意ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- ・ 注意ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ注意ラベルを貼ってください。

主要機能・名称・用途

■ 各部の名称



(※) 本体のみ仕様には、充電器、電池パックは付属しておりません。

■ 用途

- ・ 樹木の剪定作業
- ・ 果樹の収穫を行う作業 など

切断作業は保護めがねを着用してください。



・ 金属、食品などの切断には使用しないでください。

仕様

■仕様

●本体

- ・ 電源 DC 10.8V
- ・ 最大切断枝径 25mm ※¹
- ・ 本体寸法 ※² (長さ×幅×高さ) 272 × 65 × 99mm
- ・ 質量 ※² 0.9kg

※¹ 最大切断枝径は、樹木の種類やブレード（刃）の状態などにより変わる場合があります。

※² 電池パック（B-1125L）取付け時の値です。

●電池パック（B-1125L）

- ・ 電圧 DC 10.8V
- ・ 電池 リチウムイオン電池
- ・ 容量 2,500mAh
- ・ 質量 0.22kg

●充電器（UBC1804L）

- ・ 電源 AC 100V 50/60Hz
- ・ 定格出力電圧 DC 10.8-18.5V
- ・ 充電時間 ※³
 - 80%充電（実用充電）※⁴ 29 分
 - 満充電 38 分
- ・ 質量 0.63 kg

※³ 充電時間は周囲の温度や電池の状態により変動します。

※⁴ 80%充電（実用充電）は、満充電の80%の充電状態です。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

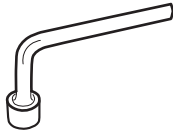
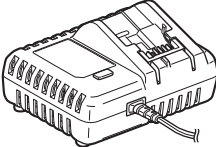
●1充電当たりの作業量（目安）（周囲温度20℃）

2,200 本カット（米松φ 15mm 切断の場合）

※電池容量および、作業環境、ブレード（刃）の切れ味、周囲温度などの条件により作業量は異なります。

付属品・別販売品

■ 付属品

ブレード（固定刃）（本体取付） …1 	ブレード（可動刃）（本体取付） …1 	六角棒レンチ 2.5mm …1 	六角棒レンチ 4mm …1 	ボックススパナ 14mm …1 
ホルスター …1 	オイル差し（オイル入り） …1 	電池パック ※ （B-1125L） …2 	充電器 ※（UBC1804L） …1 	

※本体のみ仕様には、充電器・電池パックは付属していません

■ 別販売品

・ ブレード替刃（固定刃・可動刃） 「■付属品」参照 ・ 電池パック ・ 充電器 （18 ページの「●電池パック・充電器について」参照）	刃物クリーナー（300mL）  用途：工具の刃物に付着した樹木のヤニ・シブや汚れの洗浄
--	--



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。
- ・ 電子カタログ <https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



準備

■ 充電について

⚠ 危険



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・ 改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。



禁止

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

⚠ 警告



禁止

正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災のおそれがあります。
- ・ 周囲の温度が 0℃以下、または周囲の温度が 40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。



必ず守る



電源プラグ
を抜く



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

- ・ 爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠ 注意



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

● 充電方法

充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。
充電状態は充電器のランプで表示しています。(18 ページ〈表 1〉参照)

【1】 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

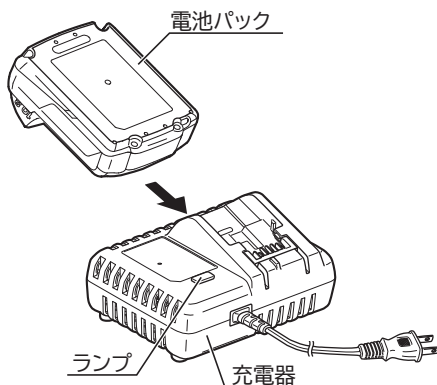
【2】 電池パックを充電器にさし込みます。



- ・電池パックを奥まで確実にさし込んでください。充電できない場合があります。また、適切なランプ表示にならない場合があります。

【3】 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から抜取ります。

【4】 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・リチウムイオン電池は、電池パックの温度が 0℃～ 40℃の間で充電できますが、電池パックの温度が 10℃以下の場合には充電完了までの時間が長くなります。
- ・充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

● 充電器（UBC1804L）ランプ表示

〈表 1〉

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電前	緑	点滅 	充電器をコンセントにさし込んだ状態。
充電中	赤	点灯 	充電している状態。
80%充電	赤	点滅 	80%充電完了した状態。
充電完了	緑	点灯 	充電が完了した状態。
温度待機	緑	短点滅 	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・ 充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	緑・赤	短点滅 (交互) 	充電できない状態。 ・ 電池寿命または電池パックの故障が考えられます。

- ・ 購入後、初めての使用時や長期保管後の電池パックは、充電時間が長くなる場合があります。
- ・ 電池パックの取付けが不十分な場合、適切なランプ表示にならない場合があります。

● 電池パック・充電器について

本製品に使用可能な電池パックおよび充電器で充電する場合の充電時間は〈表2〉の通りです。
お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、〈表2〉をご確認ください。

〈表 2〉

充電器 \ 電池パック (10.8V)			リチウムイオン電池	
			B-1125L 2,500mAh	B-1115L 1,500mAh
充電時間 ※1	UBC1804L	80%充電 ※2 (実用充電)	29 分	16 分
		満充電	38 分	21 分
	UBC-1803L ※3		102 分	71 分
	UBC-1802L ※3		41 分	26 分

※1 電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※2 80%充電（実用充電）は、満充電の80%の充電状態です。

※3 充電器 UBC-1803L, UBC-1802L は、満充電時の時間です。

付属品以外の電池パック、充電器をご使用の場合は、各商品の説明書などをご確認ください。

準備

● 電池パックの保管について

⚠ 注意



禁止



必ず守る

- ・ 電池残容量が少ない状態で放置しないで充電してください。
- ・ 満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管ください。
- ・ 電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

● 電池寿命について

正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命とお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

■ ご使用前の準備

● 作業する場所に関して

作業場所および作業周辺の状況を確認し、事故や故障の原因になるものがある場合は、取り除いてください。

■ 電池パックの取付け、取外し

⚠ 警告



必ず守る

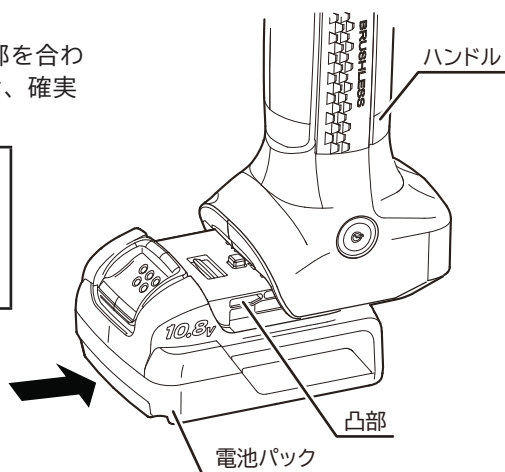
- 本体に電池パックを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

● 電池パックの取付け

本体のハンドル下部の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、確実にさし込んでください。

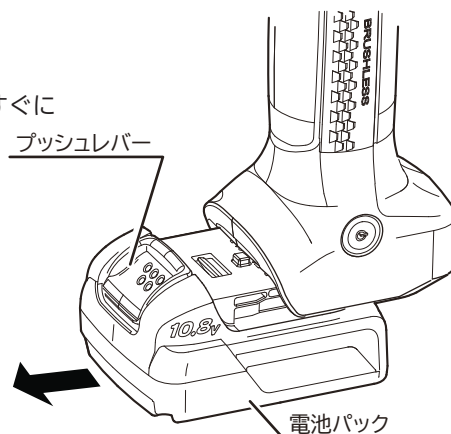


- 電池パックが本体に確実に取り付けられていることを確認してください。
使用中に脱落するおそれがあります。



● 電池パックの取外し

プッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



使い方

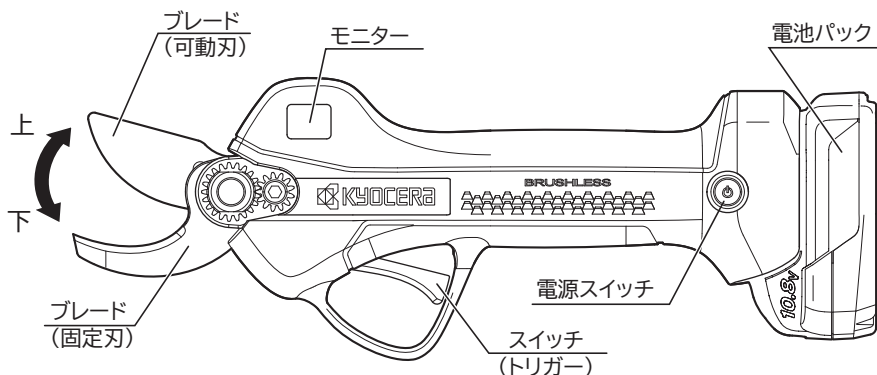
■ スイッチ（トリガー）の扱い方

⚠ 警 告



必ず守る

- ・ スイッチ（トリガー）に指を掛けて運ばないでください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・ 電源を入場合合は、本体をしっかり持ち、ブレード（刃）に手、指や顔を近づけないでください。けがや事故の原因になります。



- 【1】 本体に電池パックをしっかり差し込みます。
- 【2】 電源スイッチを長押しします。（モニターに開口径と電池残量が表示されます）
- 【3】 スイッチ（トリガー）を連続で2回引いた後に放すと（ロック解除）、ブレード（可動刃）が自動的に（25mm）開きます。（ブレードを閉じた状態で電源を切った場合）
- 【4】 スイッチ（トリガー）を引くと、ブレード（可動刃）が閉じ、スイッチ（トリガー）を放すと開きます。
- 【5】 スイッチ（トリガー）を4秒以上引き続けると、ブレード（可動刃）は完全に閉じた状態で停止して、自動的に待機モードになります。
待機モードを解除するには、【3】の作業を行ってください。



- ・ 約15分放置した場合は、自動的に電源が切れ、モニターが消灯します。

（電源切り方）

- 【1】 スイッチ（トリガー）を 4 秒以上引き続けると、ブレード（可動刃）は完全に閉じた状態で停止して、自動的に待機モードになります。
- 【2】 待機モードの状態で、電源ボタンを長押しすると、電源が切れてモニターが消灯します。

■ ブレード開口角度の設定

ブレード開口角度は、2 段階の設定が可能です。
全開（開口幅 25mm）、半開（開口幅 18 mm）。

- 【1】 電源を入れ、ブレード（可動刃）を開いた状態にします。（21 ページの「■スイッチ（トリガー）の扱い方【3】」参照）
- 【2】 スイッチ（トリガー）を 2 秒引き放すと、半開（開口幅 18mm）が設定され、モニターに「 18mm」が表示されます。
- 【3】 再度スイッチ（トリガー）を 2 秒引き放すと、全開（開口幅 25mm）が設定され、モニターに「 25mm」が表示されます。

■ ビープ音一覧

操 作	状 態	ビープ音
電源スイッチを入れる	電源が入る	 ○ ●
スイッチ（トリガー）を 2 回引く（ロック解除）	ブレードが 25mm 開く	● ● ●
スイッチ（トリガー）を引く（2 秒）	25mm → 18mm 開く	
スイッチ（トリガー）を引く（2 秒）	18mm → 25mm 開く	 
スイッチ（トリガー）を長押し（4 秒）します	25mm → ブレード閉じる	  ●
	18mm → ブレード閉じる	   ●

使い方

■ エラーコード一覧

エラーコード	内容	対処法
E02	電流検出異常	電源を OFF にし、再起動してください
E03	回路異常	電源を OFF にし、再起動してください
E05	過電流保護	電源を OFF にし、再起動してください
E06	刃物位置不良	可動刃の位置合わせをしてください (29 ページの「●ブレードの取付け」参照)
E07	モーター異常	電源を OFF にし、再起動してください
E08	過放電 / 過充電保護	電池を充電してください
E09	製品温度保護	電源を OFF にし、しばらくしてから再起動してください
E10	回路不良	電源を OFF にし、再起動してください
E11	回路不良	電源を OFF にし、再起動してください
E12	モーター異常	電源を OFF にし、再起動してください
E13	回路不良	電源を OFF にし、再起動してください
E14	電池温度保護	電源を OFF にし、しばらくしてから再起動してください
E18	ディスプレイ表示不良	電源を OFF にし、再起動してください

※これらの処置を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 剪定作業

 警 告	
 必ず守る	・ 使用中は、本体の先端部分やブレード（刃）に、手や顔を近づけないでください。けがの原因になります。
 必ず守る	・ 使用中は、枝を保持する手に注意して作業してください。誤って挟むと、切断などけがの原因になります。
 必ず守る	・ 作業する箇所に電線などがないことを作業前に確認してください。電線などがあると、ブレード（刃）が触れ、感電のおそれがあり、事故の原因になります。
 必ず守る	・ 枝や異物が挟まり、ブレードが止まった場合、必ずスイッチ（トリガー）から手を放して、ブレードが停止していることを確認してから異物を取り除いてください。
 禁止	・ 雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のぬれた枝の剪定はしないでください。感電のおそれがあり、事故の原因になります。

- ・ 使用後は、電源を OFF にしてください。

使い方

⚠ 注 意



必ず守る

- ・作業前に切りやすい小枝などを切り、十分になれてから作業を行なってください。



必ず守る

- ・最大切断枝径以上の枝は切断しないでください。作業中は、けがの発生を防ぐため手袋を着用してください。



必ず守る

- ・モーターがロックする、または機械が停止するような負荷を本体に与えないでください。



必ず守る

- ・連続して使用したときは、本体が熱を持ち熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので、不用意に触れないでください。



必ず守る

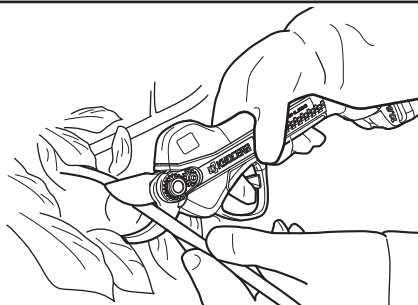
- ・切れ味が悪くなったブレード（刃）は、交換をおすすめします。
切れないブレード（刃）での作業は、けがを負うおそれがあるとともに、電池の消耗を早めます。



- ・片方の手で本体を持ち、もう片方の手で切断する枝を持ってください。その際、手と切断位置の間に視界を遮るものがないようにしてください。
- ・切断したい枝の位置をブレード（刃）で挟み、剪定を行なってください。
- ・枝の切断が終われば、スイッチ（トリガー）を放し、ブレード（刃）が元の位置に戻ったことを確認してから、次の剪定作業に移ってください。

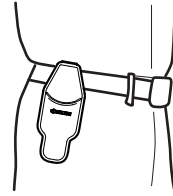
● 剪定方法

一本ずつ枝を挟んで剪定してください。
（最大切断枝径 25mm）

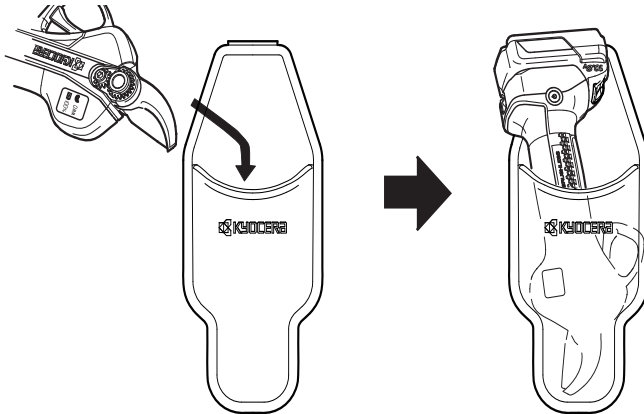


■ ホルスターの着用

- 【1】 ホルスターのベルト通しの穴にズボンのベルトを通して、腰のあたりでホルスターを保持します。



- 【2】 ブレードを閉じ、電源が切れた状態で、ホルスターに収納します。



保守と点検

■ ブレード交換

⚠ 警告



必ず守る

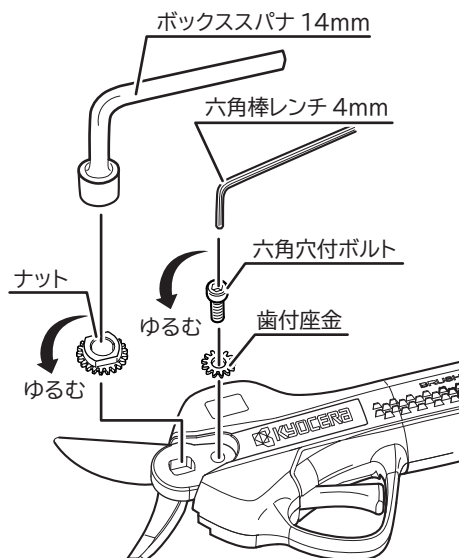
- ・ ブレードの交換の際には必ず、電源を切り、本体から電池パックを取外してください。電池パックを本体に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。
- ・ ブレードの交換の際には必ず、手袋を使用してください。
- ・ ブレードの取付けの際には、六角穴付ボルトを確実に締めてください。部品が外れけがをするおそれがあります。

● ブレードの取外し

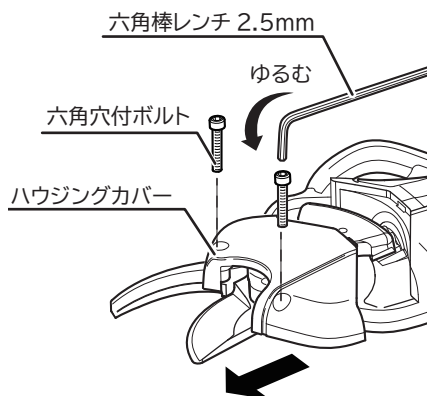
- 【1】 電源を切ります。
- 【2】 本体から電池パックを取外します。
- 【3】 付属の六角棒レンチ 4mm で六角穴付ボルトと歯付座金を取外します。
次に、付属のボックススパナ 14mm でナットを取外します。



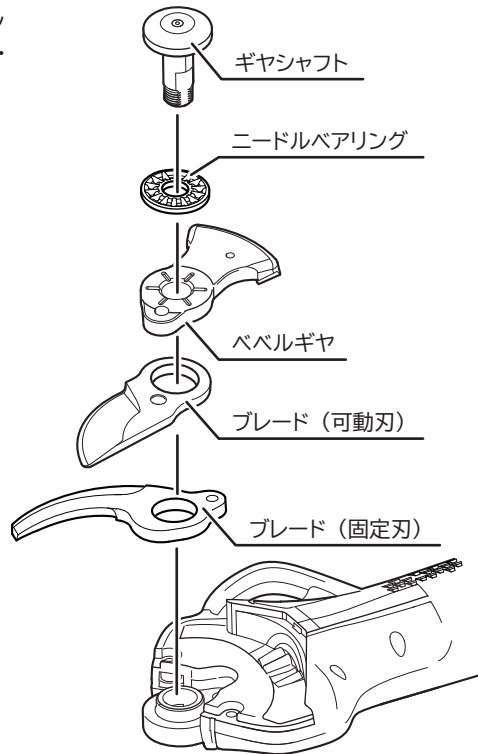
- ・ 六角穴付ボルト、歯付座金、ナットをなくさないようにご注意ください。



- 【4】 本体の向きを反対に変えます。
付属の六角棒レンチ 2.5mm で、ハウジングカバーを固定している六角穴付ボルト（2本）を外し、ハウジングカバーを矢印方向へスライドさせて取外します。



- 【5】 次に、ギヤシャフト・ニードルベアリング・ベベルギヤ・ブレード（可動刃）・ブレード（固定刃）を取外します。



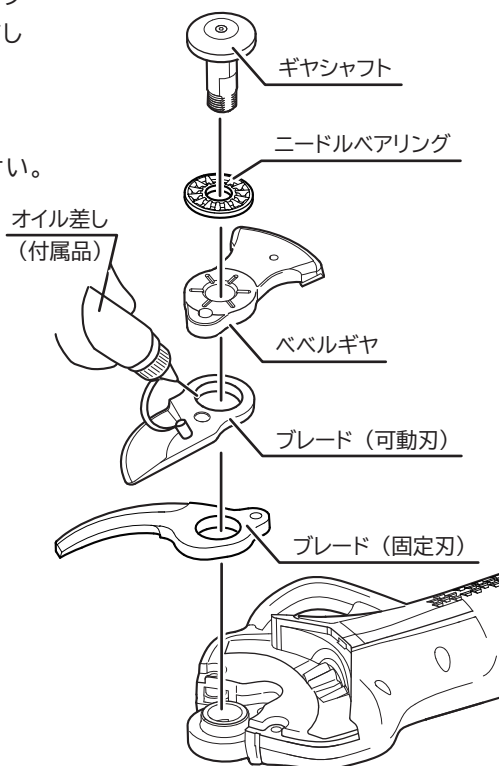
保守と点検

● ブレードの取付け

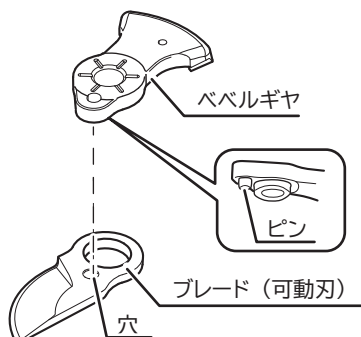
※取外し方の手順を逆に行ってください。
取付けの際は、下記の項目に注意してください。

- 【1】 付属のオイル差しにて、ベベルギヤとブレード（可動刃）の間にオイルを塗布してください。

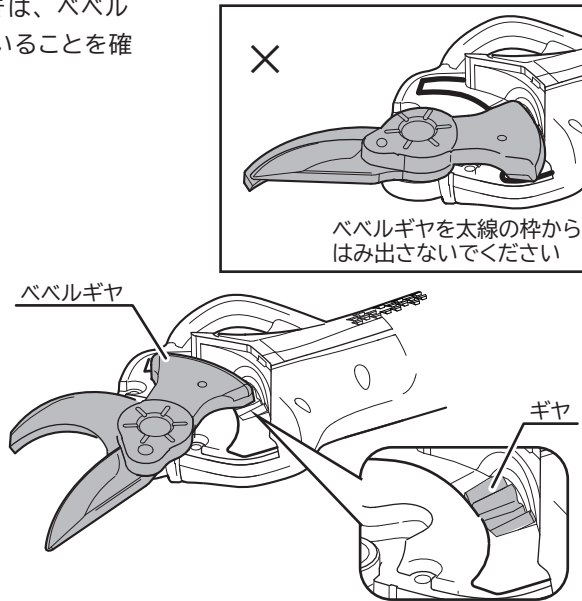
※ 付属のオイルがなくなった場合は、
市販の機械オイル等をご使用ください。



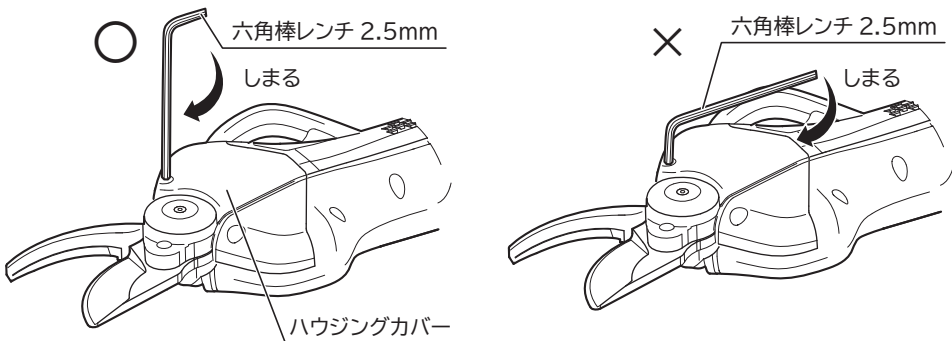
- 【2】 ベベルギヤのピンと、ブレード（可動刃）の穴を合わせて取付けてください。



- 【3】 ブレードを取り付けるときは、ペベルギヤとギヤが噛み合っていることを確認してください。



- 【4】 ハウジングカバーを下図のように、六角穴付ボルト（2 本）を付属の六角棒レンチ 2.5mm を使用して締付けてください。



- ・ 締めすぎに注意してください。短い方を使用し、強く締め過ぎると、ハウジングカバーが破損するおそれがあります。

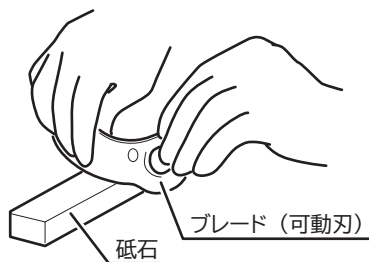
保守と点検

■ ブレードの研磨

- ブレードを研磨するときは、本体からブレードを取外します。
(27 ページの「■ブレード交換」参照)
- ブレードを研磨する前に、砥石を水に浸けてください。
- 砥石は市販品（＃400 ～ 1,500）を使用してください。

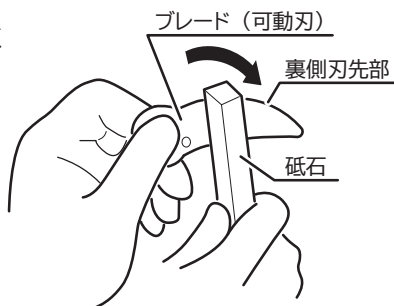
● ブレード（可動刃）のとぎ方

- 【1】 ブレード（可動刃）の刃先を砥石に押し付けて、刃先全体をとぎます。



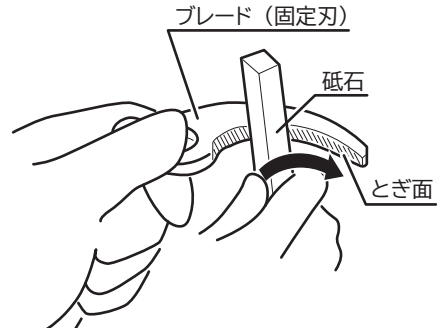
- 【2】 ブレード（可動刃）の裏側刃先部に砥石を軽く当てて、カエリを取り除いて仕上げます。

- 砥石を軽く当ててるのは、裏側の刃先部のみです。



● ブレード（固定刃）のとき方

- 【1】 ブレード（固定刃）の刃先（とぎ面）の角度に合わせて、矢印の方向に押し付けて刃先全体をとぎます。



- 【2】 ブレード（固定刃）裏側の刃先部に砥石を軽く当ててカエリを取り除いて仕上げます。

- ・ 砥石を軽く当てるのは、裏側刃先部のみです。



- ・ カエリは取り除く程度にしてください。

余計にといだ場合、ブレード（可動刃）とブレード（固定刃）の間に隙間ができるおそれがあります。

保守と点検

■ ブレードの手入れ

警告



必ず守る

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。けがの原因になります。

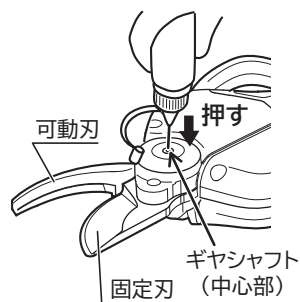
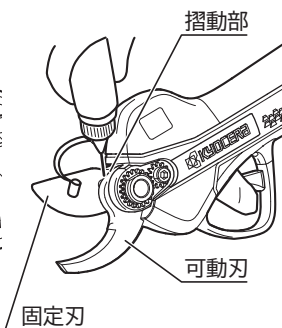
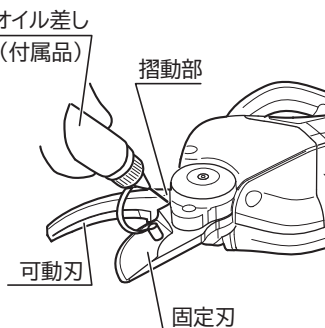


分解禁止

- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
発火したり、異常作動してけがの原因になります。

- ・ ブレードは常に切れ味の良いものを使用してください。切れないブレードを使用すると作業の効率が悪いばかりでなく、モーターが過負荷状態になり、故障の原因になります。
- ・ 付属のオイル差しで摺動部（固定刃と可動刃の間）に適量を塗布し、ギヤシャフトへは、中心部分へオイルの差し口を押し付けて適量を塗布します。

オイル差し
(付属品)



- ・ 使用後は乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ ブレードの手入れを怠ると、ブレードの摩擦が大きくなり、1回の充電での使用時間が短くなります。

■ 各部取付けネジの点検

- ・ ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■ 作業後の保管

- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。
- ・ 電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電で保管すること。
 - b. 6 ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管はしないこと。
 - d. 0℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

■ 修理について

- ・ 本製品は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
- ・ その他、部品の購入、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
充 電 器	充電できない	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。	17
		電池パックが充電器に確実にさし込まれていますか。	電池パックを奥まで確実にさし込んでください。	17
		電池パックまたは充電器の充電端子が汚れていませんか。	綿棒などで汚れをふき取ってください。	-
		電池パックが高温になっていませんか。	電池パックを十分冷ましてから充電してください。	18
	充電開始後、3 時間くらい経過しても充電完了ランプが点灯しない	電池寿命または電池パック、充電器の故障と考えられます。	(18 ページの「●充電器 (UBC1804L) ランプ表示」参照) の項目を確認してください。 故障が考えられる場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	18
本 体	動かない	電池パックが確実に取付けられていますか。	電池パックを取外して、工具の電池取付け部分に異物が混入していないか確認してください。また、電池パック端子部に汚れなどが付着していないか確認してください。電池パックは奥まで確実にさし込んでください。	20
		古い電池パックを使用していないですか	電池は充放電の繰り返しなどにより劣化してきます。劣化した古い電池を使用した場合、保護回路が通常より早く作動する場合がありますので、その際は、新しい電池パックに交換してください。	-

NOTE

NOTE

部品の購入、故障、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なく
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ



0570-666-787

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、こちらをご確認
ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は、こちらをご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

保証書

持込修理

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から
下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束する
ものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名		DSH1120	製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）	
お客様	お名前			
	ご住所 〒			
			電話 （ ）	
お買い上げ日			保証期間（お買い上げ日より）	
年 月 日			1年	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号			

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって
お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い
上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、京セラインダストリアル
ツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
(b) 工場のライン作業など、連続して長時間使用したことによる故障または損傷
(c) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(d) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(e) 水の浸入による故障または損傷
(f) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(g) 過剰な負荷で使用をされて生じた故障または損傷
(h) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(i) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切れ味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
(j) 本書のご提示がない場合
(k) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(l) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換え
られた場合
(m) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(n) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(o) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(p) 商品分解状態での持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる
損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

